

楽器に使用する木材のサステナビリティを考える。
企画展示『「楽器の木」展』第2弾をヤマハ銀座店にて開催
「サステナブルキーボード」2種を展示

期間：2023年5月31日（水）～2023年12月4日（月）

場所：ヤマハ銀座店 1階

ヤマハ株式会社（以下、当社）は、楽器に使用する木材についての情報や、当社の木材や森林保全への取り組みを紹介するとともに、関連する試作品の展示を行う『「楽器の木」展』をヤマハ銀座店にて開催しています。第一弾の「アップサイクリングギター」の展示に続き、第2弾として「サステナブルキーボード」の展示を2023年5月31日（水）から12月4日（月）までおこないます。

当社では、世界中の人々のこころ豊かなくらしの実現を目指して事業活動をおこなう上で、持続可能な社会の実現に向けてさまざまな取り組みを行っています。その中の重要な活動のひとつが、木材資源への取り組みです。楽器にはさまざまな木材が使われており、当社は楽器づくりに必要な木材を世界各地から調達しています。また、自然環境を保全しながら、高品質な木材を持続可能な仕組みの中で調達するために、日々調査や研究を続けています。このたび、楽器に使用する木材について多くの方に知っていただき、木材資源のサステナビリティについて考えるきっかけになることを願って、「楽器の木」にまつわる企画展示を開催しています。



「サステナブルキーボード」(左：DIYタイプ 右：アンティークタイプ)

※アンティークタイプは実際の展示と一部異なります。

本展示は、試作品の展示をメインに、木の特徴と音の関係性や、希少木材に代わる素材開発、環境保全への取り組みなどをテーマにしたコラムで構成されています。木材の実物展示もあり、実際に触れて、見て、体感できる展示内容です。第2弾では、2種類の「サステナブルキーボード」として「DIYタイプ」と「アンティークタイプ」の試作品を展示します。電子ピアノの鍵盤は、通常プラスチックから作られますが、「サステナブルキーボード」には、さまざまな楽器づくりで発生した未利用材^{*1}を使用しています。また、白鍵部分に使用されるプラスチックを木材に置き換えることで、製品1台につきプラスチックを1.1kg削減しています。これらの試みでは、材料の持続可能性だけでなく、木材の新たな質感や表情を作ることも目指しました。人々の暮らしで長く愛用される“DIY”と“アンティーク”をコンセプトに、「懐かしいけれど新しい」デザインになっています。尚、「アンティークタイプ」はご自由に演奏いただけます。

^{*1} 木材特有の節や割れなどの欠点を持つが、製品用途によっては使い道のある材料

■『「楽器の木」展』第2弾「サステナブルキーボード」概要

期間：2023年5月31日（水）～2023年12月4日（月）※ヤマハ銀座店の営業日・営業時間に準じます

会場：ヤマハ銀座店 1階（東京都中央区銀座7-9-14）

料金：入場無料、予約不要

ウェブサイト：https://www.yamahamusic.jp/shop/ginza/experience_area/event/detail?id=3810

*文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

*掲載情報はすべて発表日現在のものです。発表日以降に変更となる可能性もありますので予めご了承ください。

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 担当：藤原

TEL. 03-5488-6605

ウェブサイト https://www.yamaha.com/ja/news_release/ (取材申し込みや広報資料請求が可能です)

■ 一般の方のお問い合わせ先

ヤマハ銀座店 インフォメーション TEL. 03-3572-3171
